

事業者団体調査(兵庫県社会福祉協議会)

質問2 研修等の実施にあたり、何が課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<p>(1)研修参加費の設定によって、主催者側と受講者側双方において負担感が生じる。</p> <p>①参加費を無料など低額に設定した場合、研修経費に不足を生じる。</p> <p>②参加費(※)を徴収すると、受講者や使用者において負担感が予想される。</p> <p>※当所では、特別な場合を除いて1日研修では、4千円を徴収。</p> <p>(2)当所が実施する研修が、職能団体や事業者団体等の他団体が実施する研修と重なる可能性がある。</p> <p>(3)介護職員の範囲(老人・障害等の施設種別、介護福祉士・ヘルパーなどの資格種別)が多岐にわたり、研修内容の企画が難しい。また、参加者数の見込みが難しい。</p>	<p>(1)上記質問2中(1)について、平成22年度では、緊急雇用対策事業を活用した「介護職員確保定着促進事業」において、受講料を無料とした研修を4講座計画している。</p> <p>(2)上記質問2中(2)について、県と労働局が招集し、職能団体、事業者団体代表者等が参集する「福祉人材確保推進協議会」により情報共有を行っている。</p> <p>(3)研修出席による施設職員の空白について、次の対応をとっている。</p> <p>①当所が作成している研修計画を、年度当初など、早目に関係団体に送付・案内し、計画的な研修参加を促す。</p> <p>②施設職員に空白を生じる場合には、県において経費的救済制度があるので、施設に対して制度の利用案内を行う。</p> <p>(4)研修(予定、計画)情報が、法人・施設において、職員に伝わっていない可能性がある。次の対応を採り、関係職員への周知・案内に努めている。</p> <p>①当所ホームページに研修情報を掲載、告知し周知を図っている。</p> <p>②法人・施設幹部(理事、理事長等)の研修に対する必要性について、次の方法により、理解を促している。</p> <p>ア 「職場研修支援員による職場訪問(平成21年度からの事業)」により、また、「社会福祉法人職場研修支援研修(毎年実施)」により、施設幹部(及び職員)に対して、職場研修の意義について理解を促している。</p> <p>イ 職能団体や事業者団体代表者、学識経験者等が参加する「研修委員会」において、職能団体、事業者団体代表者に対しても、職場研修の意義について理解を促すとともに、傘下構成員に対する啓発を促している。</p>	<p>(1)法人・施設幹部(理事業、理事等)の研修に対する必要性に対する理解を深める。</p> <p>(2)介護職員の就労環境改善や、研修参加によるメリットを付加することなどにより、職員の研修参加意欲の向上を図る。</p> <p>(3)研修機会を増やす。</p>

事業者団体調査(奈良県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
奈良県社会福祉協議会 奈良県福祉人材センター	新任職員研修	県内社会福祉施設、事業所及び社協等において、利用者の相談援助や介護サービス等に従事する者で、概ね業務経験が2年未満の新任職員。	福祉サービスの基本理念や、対人援助技術の基礎を理解・習得するとともに、社会人・組織人としての基本的能力を身につけることを目的に研修を実施することで、新任職員の一定の資質の確保と職場への円滑な適応の一助を図る。 また、年度末にフォローアップ講座を開催することで、福祉職員としての1年を振り返る機会を持ち、次年度に向けて専門職としての再動機づけを図る。	1回	1カ所	25時間(6日)	94人	10,000円	395,763円	-
	中堅職員研修<基礎課程>	県内社会福祉施設及び社協等において、利用者の相談援助や介護サービス等に従事する者で、概ね業務経験が3年以上で、主任・係長等の役職にない者	職場における中堅職員としての役割について理解を深め、職場の人間関係や問題解決等に関して自己の果たすべき行動を身につけるとともに、福祉専門職としての資質・能力の開発と対人援助技術の向上を図る。	1回	1カ所	20時間(4日)	79人	10,000円		-
	中堅職員研修<応用課程>	県内社会福祉施設及び社協等において、利用者の相談援助や介護サービス等に従事する者で、概ね業務経験が3年以上で、主任・係長等の役職にない者のうち、昨年度以前に中堅職員研修「基礎課程」を修了した者	職場における中堅職員としての役割について理解を深め、職場の人間関係や問題解決等に関して自己の果たすべき行動を身につけるとともに、福祉専門職としての資質・能力の開発と対人援助技術の向上を図る。	1回	1カ所	20時間(4日)	40人	10,000円	664,167円	-
	リーダー職員研修	主任・係長等の役職にある職員	職場における自己の役割について理解を深め、よりよい援助関係を築くために、職場の人間関係や問題解決等に関して自己の果たすべき行動を総合的に習得する。	1回	1カ所	23時間(4日)	50人	10,000円		-
	リーダー職員研修 オプション講座 「スーパーバイザー養成講座」	スーパービジョンを行う立場にある方	リーダー職員研修専門性分野で学んだスーパービジョンを職場で実践し、研修で振り返り等を行うことでスーパービジョンの実践力を高め、かつ、職場でのスーパービジョンの定着を目指す。	1回	1カ所	17.5時間(3日)	13人	10,000円	647,282円	-
	職場内研修指導者養成研修	県内社会福祉施設及び社協等の、職場内研修の企画担当者、各セクションのリーダー職員など	OJTをはじめとした「職場研修」の考え方や推進方法に関する知識やスキルを養うことにより、職員の定着化と資質向上、および福祉サービスの質の向上を図る。	1回	1カ所	16.5時間(3日)	50人	5,000円	139,487円	-
	福祉サービスマネージャー研修	相談・指導職、介護サービス提供現場におけるリーダー職員	利用者にとって心地よい、信頼感あふれる支援を展開できるよう、対応や接遇など福祉専門職に求められるサービスマネージャーの習得を図る。	1回	1カ所	5.5時間(1日×2コース)	87人	5,000円	146,552円	-
	アクティブ・ケア研修	①介護主任・フロアリーダーの方 ②職場内研修担当者	「利用者には負担のない介護技術」「利用者主体の介護計画」を習得・再認識してもらい、福祉力の向上・底上げを図る。	1回	1カ所	15時間(3日)	62人	8,000円	253,210円	-
行動援護従業者養成研修	行動援護サービスを提供している(予定の)従事者	知的障害者・精神障害者の移動支援を行う行動援護を実践する者にはどのような価値観、知識、技術が必要かを学ぶ。また、演習を通して実践に対する不安を解消し、スムーズに実践へと移行できるようにすることを目的とする。	1回	1カ所	22時間(4日)	42人	13,000円	253,669円	-	

事業者団体調査(奈良県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
奈良県社会福祉協議会 奈良県福祉人材センター	相談面接技術研修	日々利用者とする対人援助職(相談職・介護職・ケアマネジャーなど)の方	相談職・介護職など日々利用者に関わる者に、相談面接技術に関する講義及び面接技術の演習を実施し、援助技術の向上を図る。	1回	1カ所	12時間(2日×2コース)	42人	10,000円	263,440円	-
	介護福祉士試験準備講習会(筆記試験講習)	介護福祉士試験受験予定者	第22回介護福祉士試験を受験される方を対象に「新版介護福祉士養成講座」(中央法規出版)を用いて最近の福祉の動向や試験にむけて必要な事柄についての解説、講義を中心とした筆記試験の準備講習会を開催。	1回	1カ所	36時間(6日)	47人	18,000円	1,424,402円	-
	介護福祉士試験準備講習会(実技直前講習)	介護福祉士試験受験予定者	介護福祉士国家試験(実技試験)にむけて、演習・実技を中心とした介護実技講習を開催いたします。	1回	1カ所	(2日×2コース)	53人	10,000円		-
	介護福祉士試験準備講習会(模擬試験)	介護福祉士試験受験予定者	中央法規出版が実施する全国統一の模擬試験を使用し行うもので、問題の解説はもちろん、全国レベルでの平均点や順位を知ることができます。時間配分等は国家試験と同様に行います。	1回	1カ所	(1日)	84人	6,000円		-
	介護支援専門員試験準備講習会	介護支援専門員実務研修受講試験受験予定者	介護支援専門員実務研修受講試験受験予定者を対象に、最近の福祉の動向や試験にむけて必要な事柄についての解説、講義を中心とした準備講習会を開催。	1回	1カ所	18時間(3日)	207人	5,000円	345,280円	「介護支援分野対策講座」「福祉サービス分野対策講座」「保健・医療サービス分野対策講座」の3分野から受講生に必要な分野のみ選択いただく。

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
昨今の現状を鑑み、平成22年度は特に他業種からの転入者が目立つ。このことから、生涯研修のスタートでもある新任職員研修の研修カリキュラムを見直す必要があると考えている。福祉系の専門学校・大学を卒業した新任職員と福祉の知識・経験があまりない他業種からの転入者等が同じ研修カリキュラムで受講いただくことの研修効果を考えた時、カリキュラムの見直しが課題に挙がる。 例)どちら(福祉系学校卒または未経験者)の視点を重視し、講師に依頼すべきか	1. 介護職として従事している職員に、研修終了後、すぐにでも活用いただける研修内容の提供 2. 研修会に参加しやすい日程を組む(3日以上連続日程としないなど) 3. 研修内容を正確に情報発信・提供する 4. 研修情報を誰でも閲覧できるようにする(ホームページに掲載)	夜勤明けの研修参加、研修直後の勤務、研修を途中で抜けて夜勤に就くなど、労働後等に受講いただくのではなく、現場職員が安心して研修に参加出来る体制作りが必要である。既に実施されている「介護職員研修支援事業」は時限的措置であるため、各事業所が長期的な視点で職員の育成計画(研修計画)を立てられるような体制づくり、職員配置支援が必要ではないだろうか。

事業者団体調査(和歌山県社会福祉協議会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
和歌山県社会福祉協議会	新任職員研修	社会福祉施設等に勤務する業務経験年数2年未満の者	新任職員として必要な福祉サービスに関する知識及び技術を習得します	1回	1カ所	18時間(3日)	58人	-	-	-
	中堅職員研修	社会福祉施設等に勤務する業務経験年数2年以上で主任、係長等の役職にない者	中堅職員として必要な福祉サービスに関する知識及び技術を習得します	1回	1カ所	36時間(6日)	192人	-	-	-
	相談面接技術研修	社会福祉施設等に勤務する者	現場で役立つ面接等の基本的な技能を身につけ、福祉サービスの向上を図ります	2回	1カ所	6時間(1日)	81人	-	-	-
	腰痛予防のための介護技術講習会	現在、介護職員、ホームヘルパーに従事されている方	介護職の日常業務で生じる腰痛についての知識を深め、腰の負担にならない正しい介護技術を習得します。	1回	1カ所	4時間(1日)	51人	-	-	-
	認知症高齢者処遇研修	社会福祉施設等に勤務する者	認知症高齢者を支える専門職として、認知症高齢者の自立した生活を支援するために求められる認知症介護の知識及び技術を習得し	1回	1カ所	10時間(2日)	155人	-	-	-
	福祉サービスマナー研修	社会福祉施設等に勤務する者	質の高いサービスが提供できるよう、福祉サービスに求められる接遇に関する知識と技術を習得します。	1回	1カ所	5時間(1日)	54人	-	-	-
	メンタルヘルスセミナー	社会福祉施設等に勤務し、主任、係長の役職にある方、または日常業務の中で部下の育成・指導にあたる方	指導的立場の職員が自らのメンタルヘルスについての知識を深め、職場でメンタルヘルス対策を促進し、より良い職場環境作りを図ります。	2回	1カ所	12時間(2日)	59人	-	-	-
	介護職のための医学基礎講座	高齢者福祉施設等に勤務する者	高齢者福祉施設職員として必要な感染症や口腔ケアの基礎知識を学びます。	3回	1カ所	5時間(1日)	147人	-	-	-
	レクリエーション研修	社会福祉施設等に勤務する者	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	12時間(2日)	39人	-	-	-
	職場研修担当者研修	社会福祉施設等に勤務する者	職員の資質向上を目的とし、職場研修を推進する際に、研修担当者として必要な知識を習得します。	1回	1カ所	20時間(4日)	27人	-	-	-
	レクリエーションスキルアップ研修	社会福祉施設等に勤務する者	職場内におけるレクリエーションの知識及び技能や利用者にもたらす効果等を理解し、利用者一人ひとりにあったレクリエーションを学	2回	1カ所	10時間(2日)	133人	-	-	-
	コミュニケーション力向上のための講習会	社会福祉施設等に勤務する者	社会福祉施設等で利用者やその家族、職場の同僚との信頼関係を構築するため、コミュニケーションについての理解を深め、相手の気持ちを引き出すコミュニケーション技法を習得します。	1回	1カ所	5時間(1日)	46人	-	-	-
	介護職のための救急法講習会	社会福祉施設等に勤務する者	社会福祉施設等で利用者のけがや急病が発生したとき、速やかに利用者の安全確保に努め、正しく救助するために必要な知識及び技術を習得します。	1回	2カ所	5時間(1日)	93人	-	-	-
	リスクマネジメント研修	社会福祉施設等に勤務する者	本講集会は、講義と演習を通してリスクマネジメントの重要性を理解し、実践につながる具体的な手法を学びます。	2回	1カ所	12時間(2日)	108人	-	-	-
介護支援専門員試験事前講習会	「介護支援専門員実務研修受講試験」を受験する者	「介護支援専門員実務研修受講試験」受験に必要な知識を総合的に学習します	1回	1カ所	36時間(7日)	67人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。下欄にご記入ください。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。下欄にご記入ください。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。下欄にご記入ください。
研修開催場所や研修科目数を増やし、ニーズにあった研修を実施し、チラシを配布するなど、受講促進に努める必要があります。	社会福祉施設等に対してアンケート調査・研修後の受講者アンケートをもとに施設のニーズを把握し、研修テーマやプログラム、開催形態などを工夫しています。	福祉職員の質の向上は大切であるが、特に小規模事業所にとって人員不足の深刻な状況であるため、職員を研修に受講させる体制が整っていない事業所が多く存在し、人材確保・定着の支援が必要と考えています。

事業者団体調査(鳥取県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
鳥取県社会福祉協議会	介護専門職レベルアップ講座	医療、福祉、保健の分野に勤務する専門職及び福祉系有資格者	介護専門職を対象に介護の専門的知識や技術を高め、よりよいサービスを提供することを目的とする。	44回	3カ所	88時間(23日)	1,562人	-	-	-
	住環境整備関係者研修会	住宅改修施工業者、福祉用具供給業者、介護支援専門員等専門職	高齢者、障がい者及びその家族が住宅改修や福祉用具の活用にあたって、福祉用具の活用とその用具の効果を引き出すための住宅改修の導入について、住宅改修関係者等が共通理解を図り、他職種との役割を相互理解した上で、より良いサービスを提供することを目的とする。	14回	2カ所	75時間(14日)	331人	-	-	-
	職員のやる気高めるための中堅的・指導的職員研修会	県内の社会福祉施設及び社会福祉協議会でチームリーダーや指導的職員として業務に従事している方	各職場において、知識や技術の指導だけではなく、“やる気”や“やりがい”を持って働き続けられるような職員育成が行われるよう、職場内リーダー、指導的職員の資質の向上を目的として開催する。	1回	1カ所	5時間(1日)	50人	-	-	-
	階層別(新任・中堅・指導・管理的職員)研修	新任/職務経験年数1年未満の役職にない職員 前年度の福祉施設等採用予定者研修会の受講者 中堅/職務経験年数3~8年で主任・係長の役職にない職員 指導/主任・係長・事務長等の役職にある職員 管理/施設長・副施設長・事務局長等の運営管理職員	福祉サービス事業所及び社会福祉協議会の職員を対象に、階層別(新任、中堅、指導、管理)に分かれ、福祉サービスの基本理念及び動向への理解を深めるとともに、福祉サービスの実践力、職場の課題解決能力等を養う。	1回	新任3カ所、他各1カ所	新任 3時間(1日) 中堅、指導、管理 各34時間(各4日)	新任70人、中堅47人、指導42人、管理12人(計171人)	-	-	-
	福祉マンパワー講習会(潜在的有資格者等再就業支援研修)	福祉職場従事者・経験者、福祉職就労希望者、福祉人材バンク登録者、福祉に関心のある者	福祉人材の養成・確保の一環として、福祉職場に従事した経験のある方、これから就労を希望する方、また、福祉に関心のある方などを対象に、福祉に関する情報の提供を行うことで福祉職場への就労意欲を喚起する。	1回	1カ所	2時間(1日)	184人	-	-	-
	介護職員基礎研修(150時間課程)	訪問介護員養成研修2級課程修了者で1年以上の実務経験がある者	介護職員として将来的には、任用資格は介護福祉士を基本とすべきことを踏まえて、より専門的な知識・技術を習得することを目的とし、「鳥取県介護員養成研修実施要綱」に基づき、鳥取県知事の指定を受け実施する	1回	1カ所	150時間(講義80時間、通信70時間) 平成21年10月4日~平成22年2月26日 6科目16日程	7人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	利用者のいきがいつくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 受講料の妥当性について 県内講師が少なく、講師養成の研修課程も必要 研修講師のスキルアップ 受講者定員を満たすための呼びかけ方法 特に階層別研修の管理職課程では参加が少ないため、各法人・事業所において年間研修計画の位置づけが不十分 ニーズ把握につながる研修実施後の追跡・フォローの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに掲載したり、各団体に配布している 本会が実施する全研修の開催時期(日程)の精査により重複を避ける 	<ul style="list-style-type: none"> 階層別研修の受講奨励(受講の義務化、受講料助成、など) 法人役員、管理職員等へ研修の必要性について理解を促す 施設管理者、有識者等を含む企画会によるカリキュラム開発・検討の実施 受講者不在時の職員の補充・資金の助成等、受講しやすい環境・体制の整備